

平成 28 年度版
愛知の観光振興施策の実施状況
(平成 27 年度年次報告書)

本書は、愛知県観光振興基本条例第9条第6項の規定に基づき、愛知県観光振興基本計画に定められた観光振興に関する施策の平成27年度の実施状況に関する報告を行うものです。

目 次

第1 愛知の観光の現状	1
1 観光旅行者の満足度.....	2
2 県内宿泊者数及び東アジア4か国・地域からの宿泊者数.....	3
(1) 県内宿泊者数.....	3
(2) 東アジア4か国・地域からの宿泊者数.....	3
3 経済的・社会的効果.....	4
(1) 経済的効果(観光消費額).....	4
(2) 社会的効果(観光ボランティアガイド数).....	5
第2 計画策定後及び平成27年度の主要な観光振興施策の実施状況	6
1 「産業としての観光」の推進.....	6
2 観光による地域活性化.....	18
3 「おもてなし愛知」の実現.....	26
第3 平成28年度の主要な観光振興施策	28
戦略Ⅰ 訪日外客誘致に向けたプロモーションと受入態勢の強化.....	28
戦略Ⅱ 観光資源の充実とブランド化の推進.....	29
戦略Ⅲ 観光交流拠点県としての機能強化.....	31
戦略Ⅳ MICE・スポーツ大会を通じた誘客推進.....	32
戦略Ⅴ 戦略的な観光ひとつづくり.....	33
(参考)あいち観光戦略推進委員会.....	34

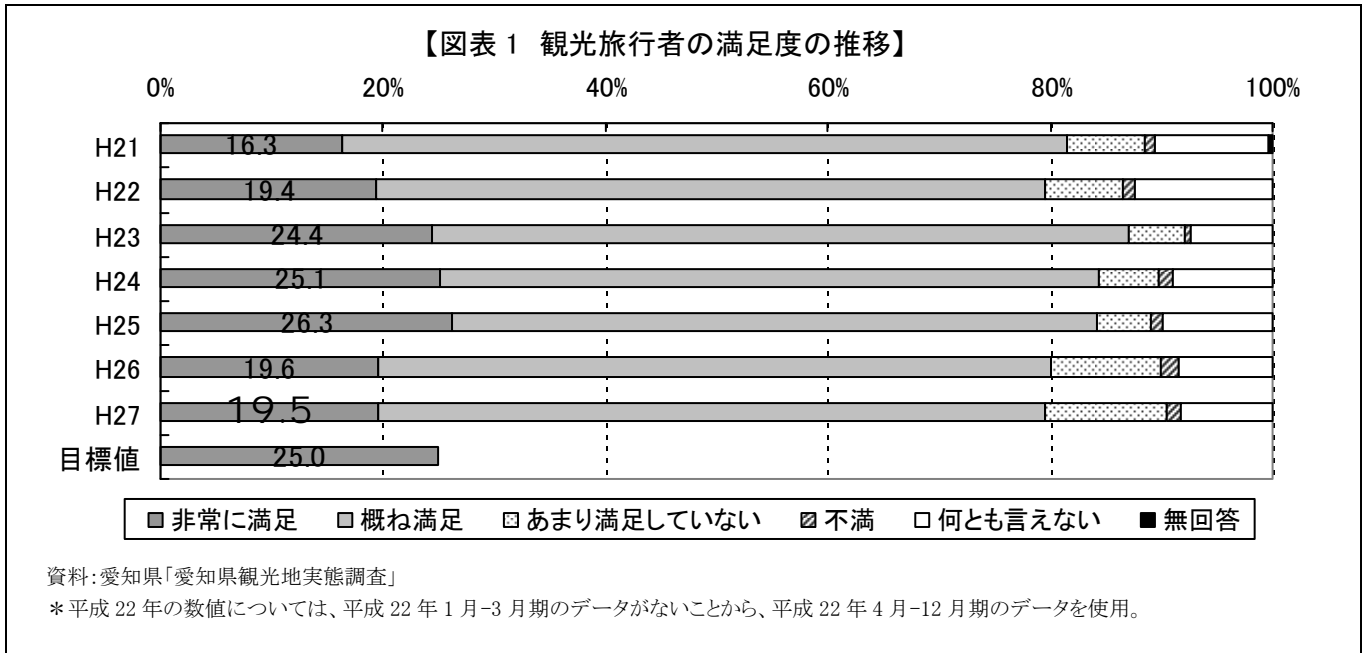
第1 愛知の観光の現状

愛知県観光振興基本計画において、計画最終年度(平成27年度)の目標として掲げた5つの指標に対する達成状況は、次表のとおりであった。

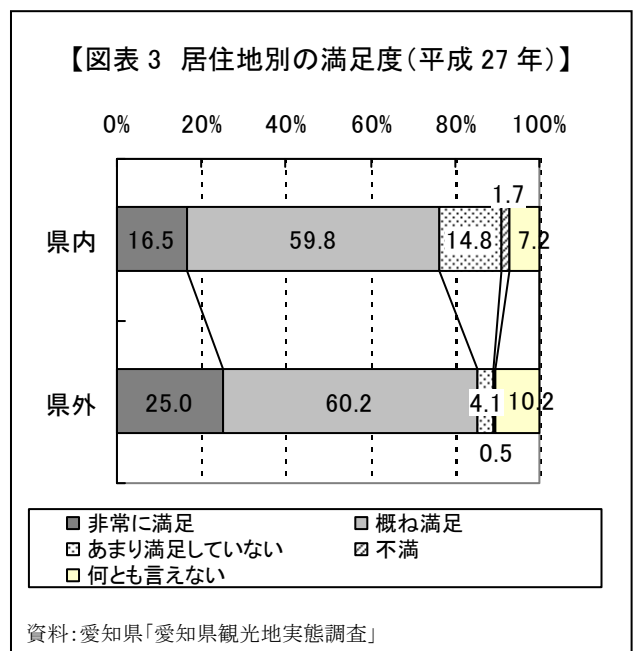
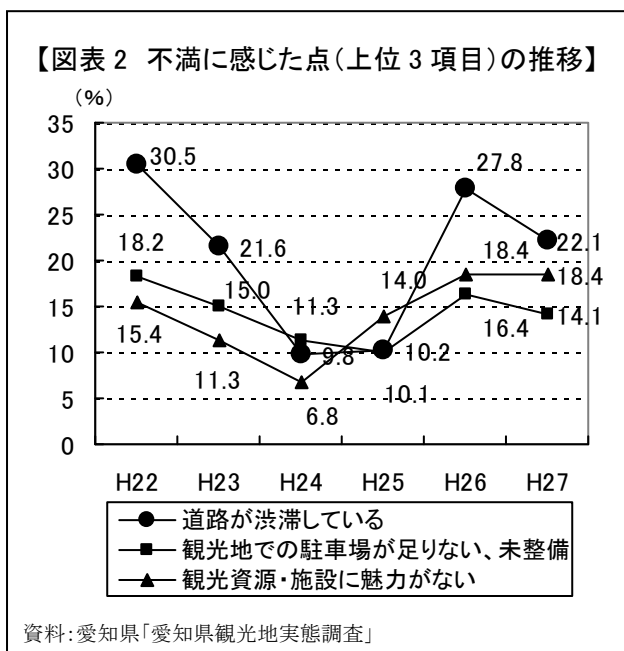
	指 標	目 標 値 (平成27年)	計画当初	平成26年度 年次報告	現 況
1 観光旅行者の満足度の向上	観光旅行者の満足度 【非常に満足】	25%	16.3% (平成21年)	19.6% (平成26年)	19.5% (平成27年)
2 観光交流人口の拡大 (注)	(1)延べ宿泊者数	1,500万人	1,048万人 (平成20年)	1,341万人 (平成26年)	1,460万人 (平成27年)
	(2)うち東アジア4か国・地域(中、台、韓、香)からの延べ宿泊者数	150万人	49万人 (平成20年)	81万人 (平成26年)	153万人 (平成27年)
3 観光と地域社会の発展	(1) (経済的効果) 観光消費額	1兆円	5,300億円 (平成20年)	7,270億円 (平成26年)	7,813億円 (平成27年)
	(2) (社会的効果) 観光ボランティアガイド数	3,000人	2,202人 (平成20年1月)	2,020人 (平成27年1月)	2,384人 (平成28年1月)

(注)従業者数10人以上の施設を対象とした、延べ宿泊者数調査の結果を利用している。

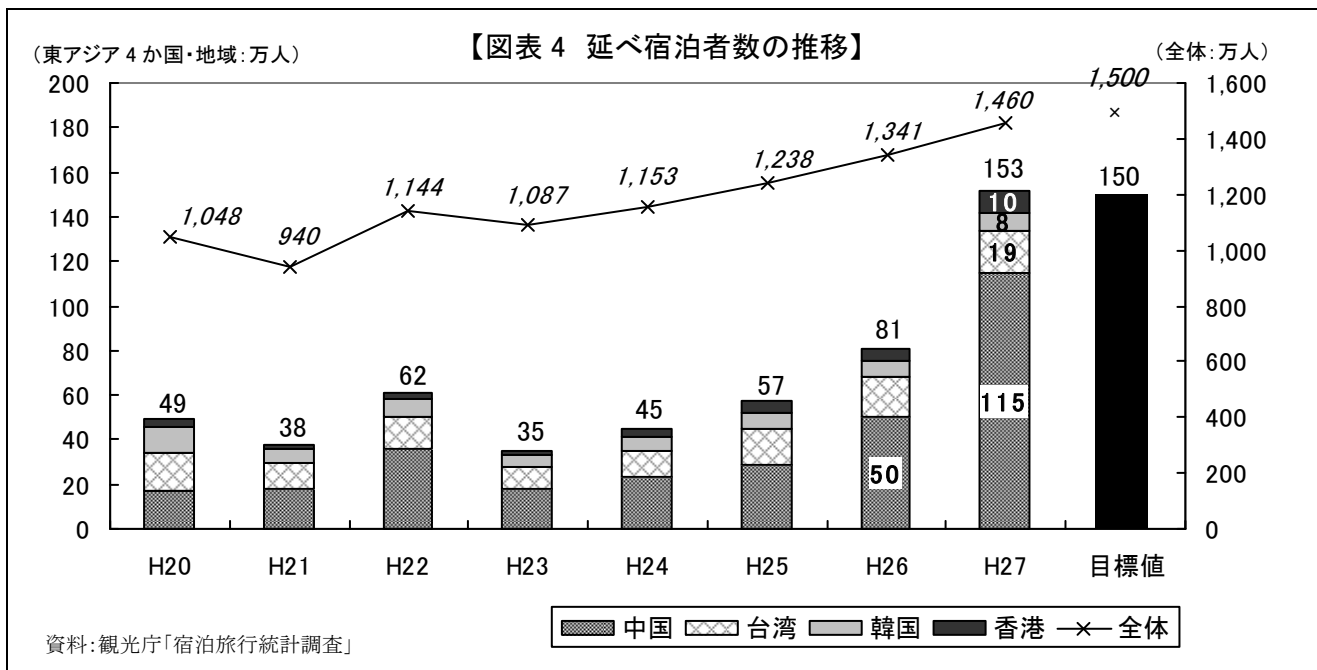
1 観光旅行者の満足度



- 平成 21 年以降、「非常に満足」と回答する観光旅行者の割合は順調に増加したが、平成 26 年以降は減少に転じ、計画最終年の平成 27 年調査では 19.5%に止まって、目標の達成を果たせなかった。
- 同アンケート調査で、「不満に感じた点」(図表 2)としては、「道路が渋滞している」が最も多く、22.1%を占めている。次いで、「観光資源・施設に魅力がない」が 18.4%となっている。
- 過去の推移(図表 2)を見ると、特に「道路が渋滞している」ことへの不満が高まると、全体の満足度が低下する相関が読み取れる。
- なお、居住地別(図表 3)では、県内居住者の方が県外居住者に比べ満足度が低くなっており、特に「あまり満足していない」との回答は県外居住者の 3 倍以上となっている。



2 県内宿泊者数及び東アジア4か国・地域からの宿泊者数（注）

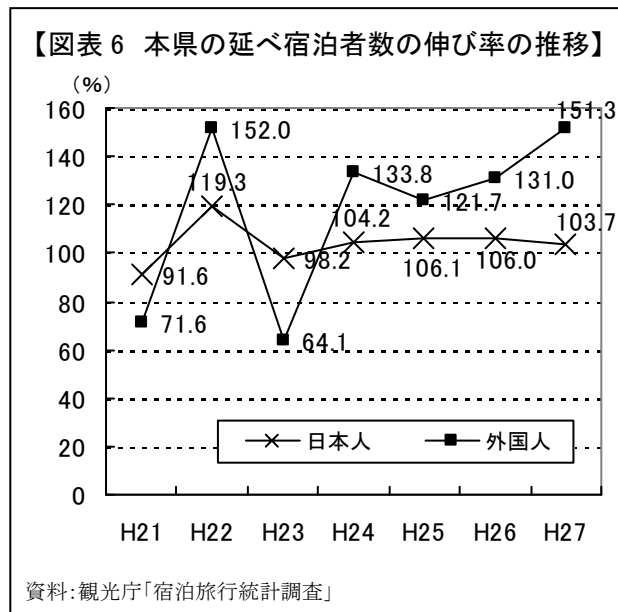
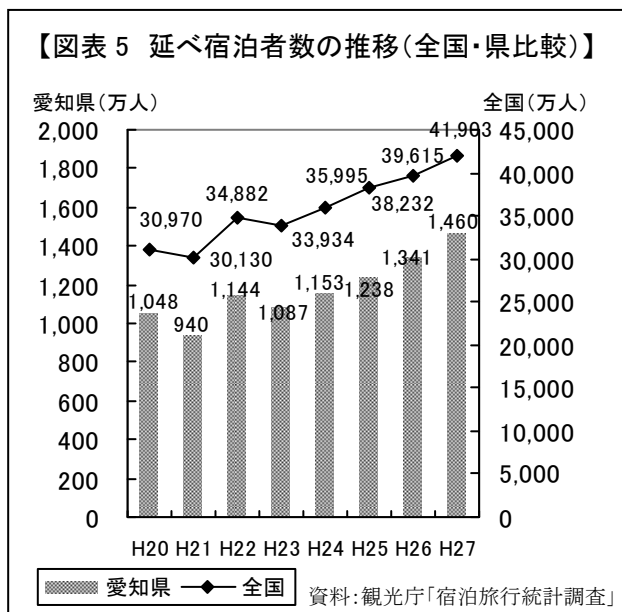


(1) 県内宿泊者数

- 平成21年に比べ500万人を超える増加数となったが、目標の達成は果たせなかった。
- 全国との比較(図表5)では、全国が3.1億人から4.2億人へと135.3%の伸びだったのに対し、本県も1,048万人から1,460万人へと139.3%の伸びで、概ね全国と同等だった。

(2) 東アジア4か国・地域（中国、台湾、韓国及び香港）からの宿泊者数

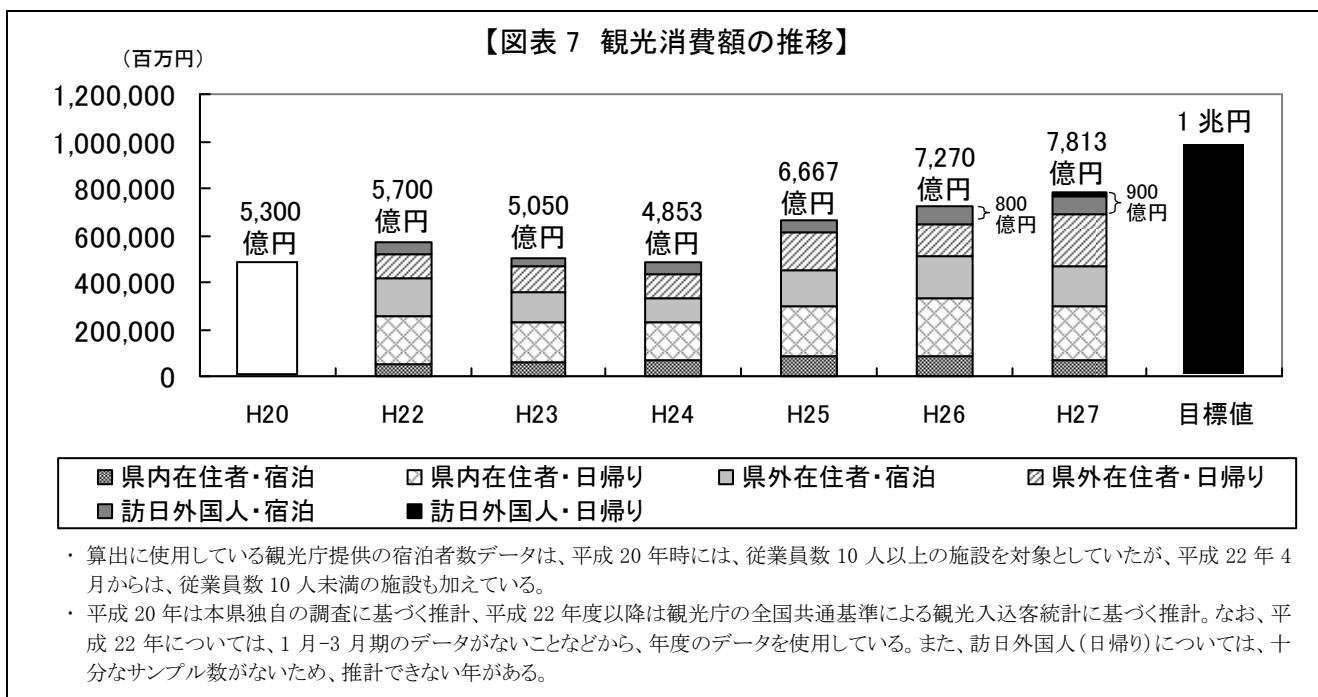
- 東アジア4か国・地域からの延べ宿泊者数は、平成27年に153万人となり、目標の150万人を達成した。特に中国からの宿泊者数は前年比2.3倍となった。
- 延べ宿泊者数の対前年比(図表6)を見ると、平成24年以降、外国人宿泊者数は2割から5割増しで推移している一方、外国人以外の宿泊者数は1割未満の微増となっている。



(注)従業員数10人以上の施設を対象とした、延べ宿泊者数調査の結果を利用している。

3 経済的・社会的効果

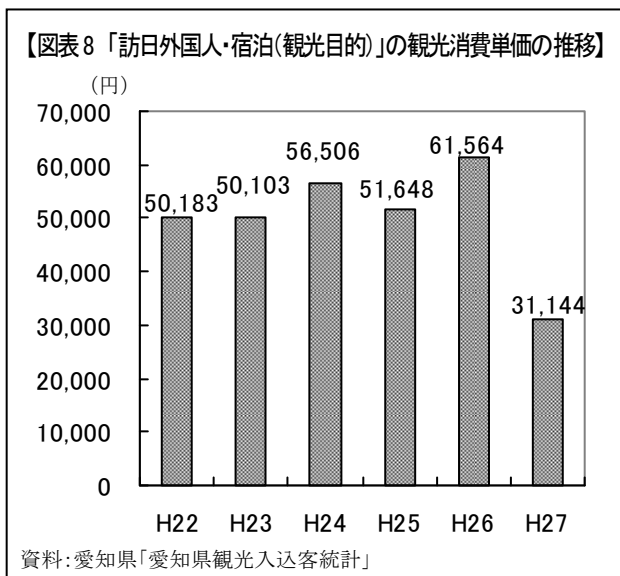
(1) 経済的効果（観光消費額）



○ 総額は、平成 20 年の 5,300 億円から平成 27 年には 7,813 億円へと 1.47 倍に拡大したが、目標としていた 1 兆円には届かなかった。

○ 近年、注目を集める訪日外国人については、「訪日外国人・宿泊(観光目的)」の観光消費単価(図表 8)が、平成 27 年の額は前年のおよそ半分に下落している。この結果、訪日外国人の観光消費額は、平成 27 年は 900 億円となり、前年の 800 億円から 1.12 倍の微増に止まった。この期間に本県を訪れた訪日外国人旅行者の伸び 1.57 倍(平成 26 年 123.4 万人→平成 27 年 193.4 万人)と比べて、低い伸びとなっている。

○ 全国の都道府県との比較(図表 9)では、本県は 4 位に位置している。



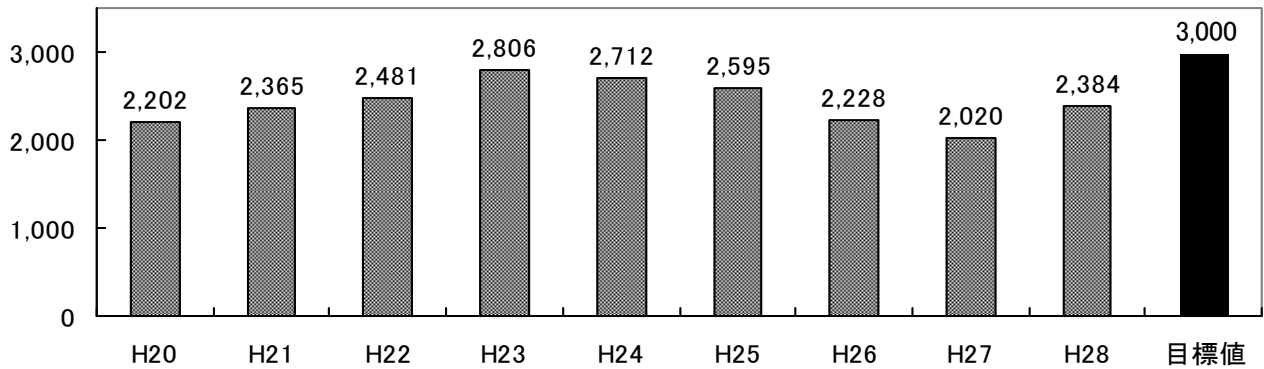
【図表 9 観光消費額の全国比較(平成 27 年)】
(27 都道府県集計時点)

順位	都道府県名	観光消費額(百万円)
1	東京都	5,961,544
2	北海道	972,287
3	静岡県	892,749
4	愛知県	781,302
5	長野県	740,970
6	栃木県	513,228
7	山梨県	396,714
8	三重県	384,089
9	新潟県	378,070
10	福島県	304,035

資料: 観光庁「全国観光入込客統計のとりまとめ」

(2) 社会的効果（観光ボランティアガイド数）

【図表 10 観光ボランティアガイド数の推移】



資料：(公社)日本観光振興協会「観光ボランティアガイド団体調査」

*本調査は、平成 25 年度(平成 26 年 1 月)以降、2 年に一度の調査となったため、平成 27 年 1 月の数値については、(一社)愛知県観光協会がとりまとめている「あいち観光ボランティアガイドの会」の登録団体会員数に置き換えた。

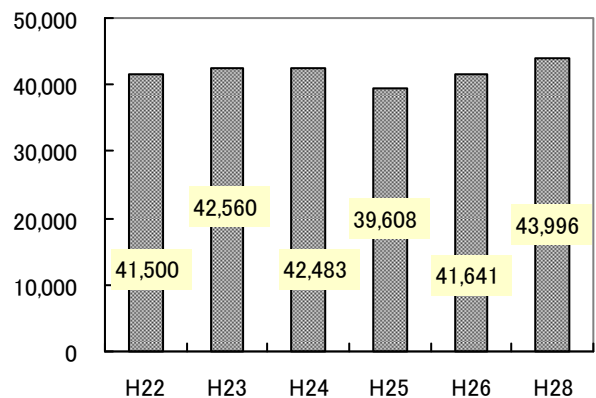
- 平成 24 年以降、減少傾向が続いていたが、平成 28 年には再び増加に転じ、1 月末時点で 2,384 人となった。しかし、目標には届かず、未達成となった。
- 全国との比較(図表 11)では、引き続き 1 位となっている。
- 全国のボランティアガイド数の推移(図表 12)を見ると、平成 25 年に減少したものの、その後、増加に転じている。
- ボランティアガイド組織が抱えている課題(図表 13)としては、「後継者育成」が最多で、以下、「案内技術の向上」、「財源」、「外国人受け入れ」、「地域・行政との関わり」が 2 割から 3 割程度で続いている。

【図表 11 ボランティアガイド数の全国比較(平成 28 年)】

順位	都道府県名	ボランティアガイド数(人)
1	愛知県	2,384
2	長野県	2,072
3	奈良県	1,900
4	兵庫県	1,752
5	北海道	1,728
6	山形県	1,369
7	埼玉県	1,319
8	東京都	1,305
8	京都府	1,305
10	大阪府	1,302

資料：(公社)日本観光振興協会「観光ボランティアガイド団体調査」

【図表 12 全国のボランティアガイドの人数の推移】



資料：(公社)日本観光振興協会「観光ボランティアガイド団体調査」


【図表 13 ボランティアガイド組織が抱えている課題】

順位	課題の内容	%
1	後継者育成	79.9
2	案内技術の向上	31.1
3	財源	29.2
4	外国人受け入れ	25.3
5	地域・行政との関わり	21.2
6	団体(ツアー)客の受け入れ	11.0
7	運営ノウハウ	10.5
8	組織としてのリスクマネジメント	7.6

資料：(公社)日本観光振興協会「観光ボランティアガイド団体調査」

第2 計画策定後及び平成27年度の 主要な観光振興施策の実施状況

1. 「産業としての観光」の推進

(1) 東アジアからの誘客推進と受入体制の充実	
計画策定後の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【PR・プロモーション】平成22年度以降、東海地区外国人観光客誘致促進協議会や中部広域観光推進協議会の一員として誘客を図るとともに、平成23年度以降は、県としても独自にプロモーション活動を実施するなど、誘客活動を強化してきた。また、計画期間中、著しい経済成長を見せた東南アジアについても、タイやインドネシア等でプロモーションを展開するなど、臨機応変な誘客活動を行った。 ○ 【多言語での情報発信】パンフレットやウェブサイトの多言語化を図ったほか、SNSを通じたタイムリーな情報発信も行うなど強化を図ってきた。 ○ 【受入体制】「おもてなし愛知県民会議」外国人観光客部会においてワーキンググループを開催するなどして、外国人観光客に対するおもてなし機運の醸成を図ったほか、無料公衆無線LANの普及促進策を講じた。
平成27年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【キャッチワード・ロゴマークの作成】(国際観光コンベンション課) 外国人旅行者の誘客をより効果的に行うため、観光PRのキャッチワード及びロゴマークを作成し、ピンバッジをはじめ、名刺やポスター、パンフレット等に刷り込んで幅広く活用した。  ○ 【アジア観光客誘致促進事業】(国際観光コンベンション課) 経済成長著しく、訪日旅行客数が伸びを続けるとともに、訪日観光に係るビザが免除(IC旅券事前登録制)されたインドネシアにおいて、観光説明会・商談会等の知事によるトッププロモーションを実施することにより、一層の誘客促進を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 渡航時期:10月18～21日 ・ 場所:インドネシア・ジャカルタ ・ 内容:観光説明会・商談会、交流会 現地旅行会社等35社76名、県内観光事業者等19団体26名、昇龍道ミッション76名 ○ 【海外での観光説明会・プロモーション】(国際観光コンベンション課) 訪日旅行客数が大幅に伸び続けている2か国・地域で観光説明会・交流

会等の観光プロモーションを実施することにより、本県への一層の誘客促進を図った。

➤ 香港

- ・ 渡航時期:9月6日～9日
- ・ 実施内容:セールススクール、観光説明会・交流会(現地側出席者:57名)

➤ 上海

- ・ 渡航時期:11月22日～25日
- ・ 実施内容:セールススクール、観光説明会・交流会(現地側出席者:63名)

○ 【中部広域観光推進協議会】(国際観光コンベンション課)

海外での観光プロモーションへの参画、海外の旅行社、メディア等の招請を行い、誘客宣伝事業を行った。

- ・ 上海世界観光博覧会出展(5月:上海)
- ・ 日中観光文化交流団参加(5月:北京、天津)
- ・ 「日本の観光・物産博 2015」出展(6月:台北)
- ・ タイ国際旅行フェア出展(8月、平成28年2月:バンコク)
- ・ マレーシア旅行博出展(9月、平成28年3月)
- ・ 中国(天津)旅游産業博覧会出展(9月)
- ・ 昇龍道ミッション(10月:インドネシア)
- ・ 台北国際旅行博出展(11月:台北)
- ・ 昇龍道物産観光展の開催(11月～12月:バンコク)
- ・ インドネシア旅行博出展(平成28年3月)

○ 【東海地区外国人観光客誘致促進協議会誘致促進事業】(国際観光コンベンション課)

- ・ ジャパンフェスティバル in ベトナム 2015 出展等及び旅行会社招請事業
- ・ インドネシア旅行会社・メディア招請事業
- ・ 韓国・香港 FIT 促進事業

○ 【東アジア観光客誘致促進事業】(国際観光コンベンション課)

マレーシアの旅行会社、タイのメディアの招請事業を実施した。

- ・ マレーシア:4社4人
- ・ タイ:3社4人

○ 【日本外国特派員協会トッププロモーション】(観光振興課・国際観光コンベンション課)

外国特派員等への記者会見及びレセプションを開催し、海外に向けて愛知の魅力をアピールすることで、愛知の知名度の向上及びイメージアップを図った。

- ・ 主催:愛知県
- ・ 時期:11月6日
- ・ 場所:公益財団法人日本外国特派員協会(東京)
- ・ 内容:知事記者会見、プレゼンテーション、試飲試食会、アトラクション(伝

続芸能の紹介、武将隊・忍者隊の演舞、愛知の食・地酒の紹介など)

- ・ 参加者:外国特派員等 100 名

○ **【県海外産業情報センターを通じた外国人観光客誘致】(産業立地通商課)**

上海及びバンコクにある県海外産業情報センターを通じ、現地セミナーにて観光 PR を行ったほか、現地企業を訪問するなどし、外国人観光客の誘致を図った。

- ・ セミナー参加:20 件(上海 15 件、バンコク 5 件)
- ・ 企業訪問・面談:67 件(上海 62 件、バンコク 5 件)
- ・ 情報提供:4 件(上海 3 件、バンコク 1 件)

○ **【県紹介 PR 映像・広報誌制作事業】(広報広聴課・国際観光コンベンション課)**

本県は外国では知名度が低く、その魅力もあまり知られていないことから、本県の魅力を総合的に紹介する PR 映像や広報誌を制作し、本県への一層の誘客促進を図った。

- ・ PR 映像の制作

英語で本県の魅力を総合的に紹介する PR 映像「Technology & Tradition To The Future」(3 分間)を制作した。

- ・ 広報誌・広報動画の制作

多言語で本県の魅力を総合的に紹介する広報誌及び広報動画「愛知の引力。」を制作した。(日本語・英語・中国語、50,000 部)

○ **【ウェブページ・SNS 情報発信事業】(観光振興課・国際観光コンベンション課)**

- 愛知県の観光情報を発信する一般社団法人愛知県観光協会のウェブページを多言語化した。

- ・ 言語:英語、中国語(簡体・繁体)、韓国語、日本語

- ・ 開設時期:(英語)12 月末、(中国語)平成 28 年 2 月末、(韓国語・日本語)平成 28 年 3 月末

- SNS により双方向で日本語、英語、中国語で迅速にイベント情報等を国内外に広く発信した。

- ・ 使用言語:英語、中国語(簡体・繁体)、日本語

- ・ 使用 SNS : Facebook、Twitter、Weibo、WeChat、Tumblr、LINE、Instagram

- ・ 開設時期: 9 月 30 日

- ・ SNS 発信者:県内在住の外国人等で構成する「愛知いいとこ発見忍者隊」及びタレント・ラジオ DJ のクリス・グレン氏

○ **【ガイドマップ制作事業】(観光振興課・国際観光コンベンション課)**

外国人旅行者向けに、愛知県の地図、観光スポット、食、交通等の情報を総合的に案内するハンディサイズのガイドマップを制作した。

- ・ 言語:日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語

- ・ 部数:日本語・英語各 5 万部、中国語(簡体字・繁体字)4 万部、韓国語 3 万部

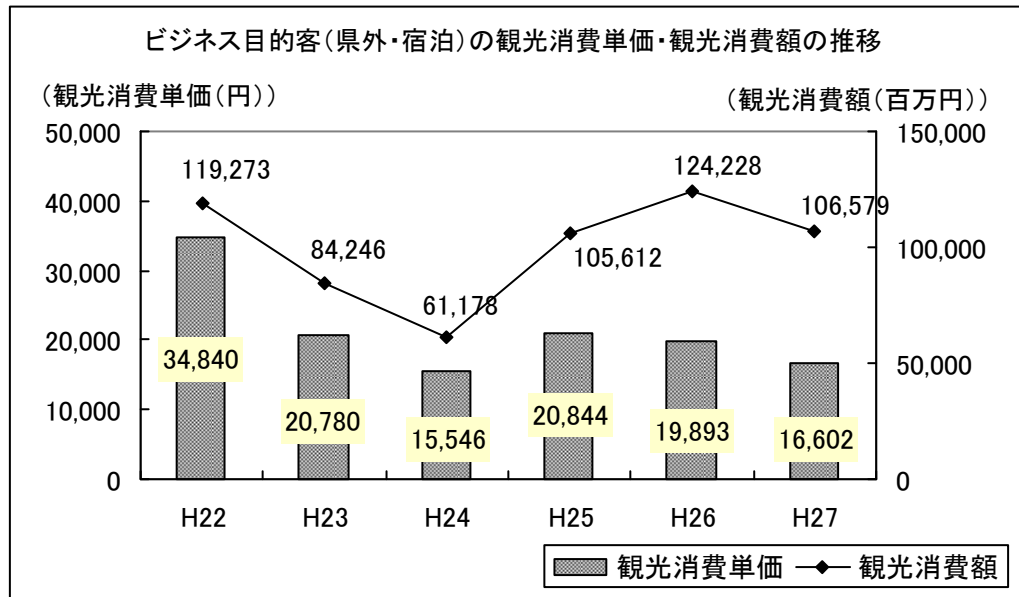
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置・配布場所: 県内主要観光案内所、首都圏主要観光案内所、各種イベント 他 <p>○ 【あいち無料公衆無線 LAN 推進協議会】(情報企画課) あいち無料公衆無線 LAN 推進協議会を設立し、取組事例の紹介や設置勧奨、訪日外国人向けフリーWi-Fi PR 用ポスター等を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設立日:7 月 1 日 ・ 協議会:2 回実施 ・ 会員 81 団体 <p>○ 【多言語表示観光案内板整備費補助金】(国際観光コンベンション課) 外国人旅行者が観光地を周遊する際の利便性向上を図るため、特に外国人が訪れる市町村、観光協会等が多言語表示観光案内板を制作・設置する整備費を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助実績:12 箇所 <p>○ 【無料公衆無線 LAN 環境整備費補助金】(国際観光コンベンション課) 民間事業者が行う無料公衆無線 LAN 環境の整備費を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助実績:23 施設、314 アクセスポイント 																																												
<p>主 な 成 果</p>	<p>○ 東アジア・東南アジアからの外国人宿泊客が増加した(従業者数 10 名以上の宿泊施設を対象とした調査結果)。</p> <table border="1" data-bbox="419 1137 1436 1682"> <thead> <tr> <th>国・地域名</th> <th>平成 22 年(人)</th> <th>平成 27 年(人)</th> <th>増加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インドネシア*</td> <td>17,230</td> <td>75,350</td> <td>437.3%</td> </tr> <tr> <td>中国</td> <td>359,140</td> <td>1,152,670</td> <td>321.0%</td> </tr> <tr> <td>香港</td> <td>33,410</td> <td>102,080</td> <td>305.5%</td> </tr> <tr> <td>ベトナム*</td> <td>15,050</td> <td>30,110</td> <td>200.1%</td> </tr> <tr> <td>フィリピン*</td> <td>10,650</td> <td>19,630</td> <td>184.3%</td> </tr> <tr> <td>タイ</td> <td>55,390</td> <td>95,820</td> <td>173.0%</td> </tr> <tr> <td>マレーシア</td> <td>9,950</td> <td>17,170</td> <td>172.6%</td> </tr> <tr> <td>台湾</td> <td>141,740</td> <td>188,380</td> <td>132.9%</td> </tr> <tr> <td>シンガポール</td> <td>19,100</td> <td>20,900</td> <td>109.4%</td> </tr> <tr> <td>韓国</td> <td>84,090</td> <td>82,950</td> <td>98.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>*インドネシア、ベトナム、フィリピンは、平成 25 年との比較。 (資料:観光庁「宿泊旅行統計調査」)</p>	国・地域名	平成 22 年(人)	平成 27 年(人)	増加率	インドネシア*	17,230	75,350	437.3%	中国	359,140	1,152,670	321.0%	香港	33,410	102,080	305.5%	ベトナム*	15,050	30,110	200.1%	フィリピン*	10,650	19,630	184.3%	タイ	55,390	95,820	173.0%	マレーシア	9,950	17,170	172.6%	台湾	141,740	188,380	132.9%	シンガポール	19,100	20,900	109.4%	韓国	84,090	82,950	98.6%
国・地域名	平成 22 年(人)	平成 27 年(人)	増加率																																										
インドネシア*	17,230	75,350	437.3%																																										
中国	359,140	1,152,670	321.0%																																										
香港	33,410	102,080	305.5%																																										
ベトナム*	15,050	30,110	200.1%																																										
フィリピン*	10,650	19,630	184.3%																																										
タイ	55,390	95,820	173.0%																																										
マレーシア	9,950	17,170	172.6%																																										
台湾	141,740	188,380	132.9%																																										
シンガポール	19,100	20,900	109.4%																																										
韓国	84,090	82,950	98.6%																																										

(2) ビジネス客による観光利用の促進

<p>計画策定後の主な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【受入企業との連携・協働】平成 23 年度に実施した「MICE 実態調査」の中で、県内企業が実施するインセンティブ(報奨・研修)旅行に係る実態を調査して以降、県内の MICE 関係者を集めたセミナーを開催し、MICE 誘致の意義について意識啓発を行ってきたほか、平成 27 年度には、当地域で MICE に関わる幅広いステークホルダーと共に「愛知・名古屋 MICE 推進協議会」を設置した。また、本県の観光ポスターの掲示やリーフレットの配布等に協力いただく「ハート・オブ・ジャパンあいち応援企業」の取組を開始した。 ○ 【海外ネットワークを生かした情報発信】上海及びバンコクに設置している県海外産業情報センターのネットワークを活用し、現地企業に対して本県の観光情報の発信を行ってきた。
<p>平成 27 年度実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【MICE セミナーの開催】(国際観光コンベンション課) 「愛知・名古屋 MICE 推進協議会」において MICE セミナーを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日:平成 28 年 2 月 12 日 ・ 開催場所:名古屋商工会議所 5 階 ・ 内容:基調講演、パネルディスカッション ・ 参加者数:71 人 ○ 【ハート・オブ・ジャパンあいち応援企業】(観光振興課) 本県の観光ポスターの掲示やリーフレットの配布等に協力いただく「ハート・オブ・ジャパンあいち応援企業」の取組を開始した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 募集開始: 11 月 24 日(火)から随時受付 ・ 募集対象:愛知県に本社があり、首都圏に事業所がある企業または愛知県に事業所があり、首都圏に本社がある企業 ・ 登録企業数:63 企業(平成 27 年度末現在) ○ 【県海外産業情報センターを通じた外国人観光客誘致】(産業立地通商課) 《再掲》 上海及びバンコクにある県海外産業情報センターを通じ、現地セミナーにて観光 PR を行ったほか、現地企業を訪問するなどし、外国人観光客の誘致を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ セミナー参加:20 件(上海 15 件、バンコク 5 件) ・ 企業訪問・面談:67 件(上海 62 件、バンコク 5 件) ・ 情報提供:4 件(上海 3 件、バンコク 1 件)

主な成果

○ ビジネス目的客の観光消費の喚起には、十分な成果を得られなかった。



(資料:愛知県「愛知県観光入込客統計」)

(3) イベント・コンベンションの誘致推進

<p>計画策定後の主な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【MICE 誘致】平成 23 年度に「MICE 実態調査」を実施して以降、国際見本市等に出展して PR を図ってきたが、平成 27 年度には、当地域で MICE に関わる幅広いステークホルダーと共に「愛知・名古屋 MICE 推進協議会」を設置し、MICE の一体的な推進を図ることとした。 ○ 【スポーツ大会等の招致・誘致】県内で開催されるスポーツ大会の開催を支援してきたとともに、「ラグビーワールドカップ 2019」や「FIFA フットサルワールドカップ 2020」の招致に取り組んできた。また、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」の競技招致及び合宿誘致の取組も進めてきた。 ○ 【大規模イベント等の開催】技能五輪全国大会・全国アビリンピックの招致を行い、「技能五輪・アビリンピックあいち大会 2014」を開催したほか、「全国都市緑化あいちフェア」や「インタープリター愛・地球ミーティング」を開催した。また、「第 31 回国民文化祭・あいち 2016」の開催準備を進めたほか、「あいちトリエンナーレ」や「あいち国際女性映画祭」、「メッセナゴヤ」、「ドームやきものワールド」等の大規模イベントを定例的に開催した。
<p>平成 27 年度実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【愛知・名古屋 MICE 推進協議会を通じた活動】(国際観光コンベンション課) <ul style="list-style-type: none"> 当地域で MICE に関わる幅広いステークホルダーと共に設置した「愛知・名古屋 MICE 推進協議会」を通じ、以下の活動を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「国際ミーティング・エキスポ (IME2015)」出展 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日:12 月 9～10 日 ・ 会場:東京国際フォーラム 展示ホール 1 ・ 内容:MICE 誘致プロモーション ・ 参加団体:愛知県、名古屋市、公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー、名古屋国際会議場、名古屋産業振興公社(ポートメッセなごや、吹上ホール)、名古屋東急ホテル、グランコート名古屋、名鉄犬山ホテル、ロワジールホテル豊橋 ・ 商談件数:147 件 ・ 渡航時期:9 月 6 日～9 日 ➢ 「ミーティングプランナーズガイド」(日本語版)の制作 <ul style="list-style-type: none"> ・ 発行日:11 月 ・ 部数:700 部 ・ 主な内容:愛知・名古屋が MICE 開催地に選ばれる理由、交通アクセス、主なコンベンション施設、地域が提供する MICE 支援、県内の観光地 など ※日本語版に併せて、英語版を県単独で制作。 ➢ 「MICE セミナー」開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日:平成 28 年 2 月 12 日 ・ 会場:名古屋商工会議所 ・ 内容:基調講演、パネルディスカッション ・ 参加者数:71 人

- **【MICE展示会への出展参加】(国際観光コンベンション課)**
 スペイン・バルセロナで開催された欧州最大規模のMICE見本市「IBTM World」に出展参加し、参加バイヤーとの商談を実施。愛知・名古屋の MICE 開催地としての優位性を PR した。
 - ・ 展示会の会期:11 月 17 日～19 日
 - ・ 商談実施件数:23 件
- **【コンベンション施設(大規模展示場)の整備】(国際観光コンベンション課)**
 10 万㎡程度のコンベンション施設の整備に関する調査及び大規模展示場の整備方針に係る基本構想の調査を行った。
- **【ラグビーワールドカップ 2019 の開催支援】(スポーツ振興課)**
 大会成功に向けた開催機運醸成と豊田スタジアムでの開催支援、地域の活性化を目的に設立した「ラグビーワールドカップ 2019 愛知・豊田開催支援委員会」による支援活動を行った。
- **【東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の競技招致及び合宿誘致】(スポーツ振興課)**
 競技招致に係る情報収集及び大会関係者等への働きかけ等を行ったほか、合宿誘致に係る各市町村への取組を支援した。
- **【FIFA フットサルワールドカップ 2020 の招致】(スポーツ振興課)**
 2020 年に開催されるフットサルワールドカップの本県への招致活動を実施した。
 - ・ 関係者に本県の招致活動をPRするためのパンフレットを作成・配付
 - ・ 招致機運を盛り上げるための広報事業
- **【全国都市緑化あいちフェアの開催】(公園緑地課)**
 - ・ 開催期間:9 月 12 日～11 月 8 日(58 日間)
 - ・ 会場:愛・地球博記念公園(モリコロパーク)及び県内各地の公園や花の名所などをサテライト会場として位置づけ、全県展開を実施した。
 - ・ 来園者数:サテライト会場を含むフェア全体:321 万人
(メイン会場 74 万人)
 - ・ 開催期間中に全国都市緑化祭を開催した。
- **【あいちトリエンナーレ 2016 の開催準備】(文化芸術課国際芸術祭推進室)**
 3年に1度の国際芸術祭「あいちトリエンナーレ 2016」の開催に向け、出品作家・作品の選定や普及・教育プログラムの決定、ボランティアの募集などを行うとともに、公式 Web サイトやツイッター、フェイスブック等による情報提供、ポスター・チラシ等の作成、東京での PR イベントの開催など、様々な広報 PR 活動を展開した。
- **【第 31 回国民文化祭・あいち 2016 の開催準備】(文化芸術課)**
 市町村、文化団体等と連携して準備を進め、8 月に実施計画を発表した。また、ポスターや広報グッズ、ウェブ、SNS、イベント等を通じて PR を行った。
- **【あいち国際女性映画祭の開催】(男女共同参画推進課)**
 20 回目となる「あいち国際女性映画祭」を開催。20 回記念の特別企画とし

て、国内外で活躍する女優による特別トークイベントの開催や長編部門のコンペティションを新設した。

- ・ 時期:9月1日～6日
- ・ 場所:ウィルあいち、岡崎市、知立市、弥富市
- ・ 参加者数:14,535人
- ・ 上映本数:31本

○ **【インタープリター愛・地球ミーティングの開催】(環境活動推進課)**

愛知万博10周年の節目にあたり、改めて「自然の叡智」に学ぶことの大切さを思い起こし、その想いを次世代につなげ、環境面での人づくりの輪を一層大きく広げるため、世界6か国のインタープリターを招き、トークセッションや自然体感プログラムを開催した。

- ・ 時期:10月11日・12日
- ・ 場所:愛知県立大学、愛・地球博記念公園(モリコロパーク)
- ・ 参加者数:7,500人

○ **【メッセナゴヤ2015の開催】(産業振興課)**

- ・ 期間:11月4日～7日
- ・ 会場:ポートメッセなごや
- ・ テーマ:新たな価値を生み出す未来交流
- ・ 出展規模:1,346社・団体
- ・ 来場者数:63,802名

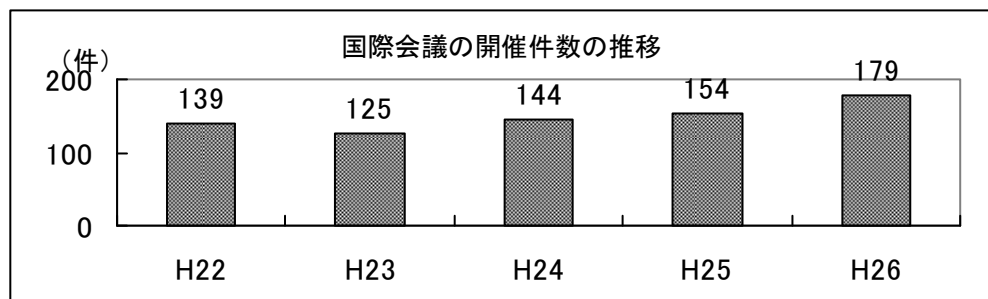
○ **【ドームやきものワールドの実施】(産業振興課)**

東海三県を中心に全国各地のやきものを集め展示するほか、コンテストやステージイベントを実施するなど、日本最大級の陶磁器まつりをナゴヤドームで開催し、陶磁器の需要拡大を図った。

- ・ 開催日:11月19日～25日
- ・ 入場者数:188,727人

主な成果

○ **国際会議の開催件数は着実に増加してきた。**



(資料:日本政府観光局「国際会議統計」)

* 国際会議とは、国際機関・国際団体または国家機関・国内団体(民間企業を除く)が主催する、参加者総数が50名以上、参加国が3か国以上の会議(JNTO「国際会議選定基準」)

(4) 観光産業の育成・振興	
計画策定後の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【地域資源を活用した商品開発・販売促進】農商工連携の促進を図り、新商品づくり等の支援を行ってきた。 ○ 【県内外での特産品 PR】名古屋市中区栄にアンテナショップを設置し、県産品の販路拡大と観光 PR を行ってきたほか(平成 24 年度以降は民間事業者による自主運営に移行)、首都圏等でも観光や物産を PR する機会を設けてきた。平成 27 年 4 月には、首都圏プロモーション推進本部を設置し、首都圏を対象として実施するプロモーションに係る情報を一元管理することとし、本県への誘客につながる魅力発信を戦略的・総合的に行う体制としている。
平成 27 年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【愛知のふるさと食品コンテストの開催】(食育推進課) 県産農林水産物を活用した加工食品の品質向上を図るとともに、開発技術、販売手法等を支援して、新たな加工需要を創出し、農林水産業の生産振興資するため、愛知のふるさと食品コンテストを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出品数:61 商品 ○ 【6 次産業化・地産地消ビジネスフェアの開催】(食育推進課) 6 次産業化法の認定事業計画者やいいともあいちネットワーク会員等による新商品づくり、販路開拓の支援、県産農林水産物の利用拡大に資するため、6 次産業化・地産地消ビジネスフェアを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出展者数:64 社 ・ 来場者数:513 人 ○ 【愛知・名古屋観光プロモーションの開催】(観光振興課) 名古屋市と連携の下、首都圏において、愛知・名古屋観光プロモーションを開催し、当地の観光地やなごやめし等のグルメの PR を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催時期:7 月 8 日～9 日 ・ 開催場所:東京駅八重洲口コンコース ・ 対象:一般消費者約 7,000 人 ・ 主な内容:知事と名古屋市長による愛知県及び名古屋市の観光 PR、ステージイベント(名古屋おもてなし武将隊の演武)、県内各地域の観光情報 PR(ゆるキャラによる PR) ○ 【東京プロモーション推進事業】(観光振興課) <ul style="list-style-type: none"> ➢ 従来から各部局が個別に実施していた首都圏でのプロモーション活動(観光、物産等)を、より戦略的、総合的に展開する体制を構築することにより、首都圏でのプロモーションを強化し、愛知の PR 及び誘客を図った。 「愛知の観光と天下の逸品フェア」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日時:平成 28 年 2 月 6 日～7 日 ・ 会場:東京シティアイ(JP タワー・KITTE 地下 1 階)

- 「こってりだけじゃない。」をキャッチフレーズに、知事をモデルにした観光PRキャラクター「ひでっち」をメインキャラクターに使用して作成した観光PR資材により、愛知の魅力を発信した。
- ・ 首都圏向け観光プロモーション公式サイト「こってり愛知 de 首都圏」及びSNS (Facebook) の開設(12月25日)
- ・ 観光PRポスターの制作(12月28日)
- ・ 観光PRパンフレットの制作(平成28年2月3日)

○ **【あいちの農産物トップセールス in 東京の開催】(食育推進課)**

本県農産物等の約3割を出荷している首都圏において、県と県内農業団体の代表者が本県産青果物や花きの購入を直接消費者に呼びかけ、消費拡大を図った。

- ・ 日時:平成28年2月6日
- ・ 場所:二子玉川ライズ東急ストア(東京都世田谷区)
- ・ 出席者:知事、JA あいち経済連会長等

○ **【第54回農林水産祭地域農林水産展への出展】(食育推進課)**

本県農林水産物の需要拡大を図るため、農林水産祭地域農林水産展に出展し、本県産農産物の即売を行うとともに、パネル展示やリーフレットの配布を行った。

- ・ 日時:11月13日、14日
- ・ 場所:サンシャインシティ・ワールドインポートマートビル

○ **【奥三河地域の観光・特産品PR】(地域政策課山村振興室)**

都市部における各種イベントにおいて、奥三河地域の観光・特産品のPRを行った。

- あいちの山里暮らし相談会 in 東京
 - ・ 開催日:6月13日、8月9日
 - ・ 場 所:ふるさと回帰支援センター
 - ・ 来場者数:28名
- ふるさと回帰フェア2015
 - ・ 開催日:9月13日
 - ・ 場 所:東京国際フォーラム
 - ・ 来場者数:12,328名(会場全体)
- ニッポン全国ふるさと市場
 - ・ 開催日:9月13日
 - ・ 場 所:東京国際フォーラム
 - ・ 来場者数:3,215名(会場全体)
- 移住・交流&地域おこしフェア
 - ・ 開催日:平成28年1月16日
 - ・ 場 所:東京ビッグサイト
 - ・ 来場者数:約6,800名(会場全体)
- 東海3県合同移住セミナー「にほんのまんなかで暮らす」

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 開催日:平成 28 年 2 月 27 日・ 場 所:ふるさと回帰支援センター・ 来場者数:6 名➤ 奥三河ブランド化大作戦ツアー・ 開催日:平成 28 年 3 月 12 日・ 場 所:民間所有の農場、鳳来館、新城観光ホテル・ 参加者数:15 名 |
|--|--|

2. 観光による地域の活性化

(1) 「産業観光」と「武将観光」の推進	
<p>計画策定後の主な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【産業観光の推進】平成 9 年度から実施している「産業観光スタンプラリー」は、当地域らしい観光資源を生かした取組として、近隣県と連携しながら引き続いて実施し、産業観光施設等への誘客促進を図ってきた。また、平成 27 年度には、産業観光施設の周遊を一層促進するため、「産業観光バスツアー」を新たに実施した。 ○ 【武将観光の推進】平成 25 年度まで、「武将観光スタンプラリー」を実施して武将観光施設への誘客促進を図ってきたが、本県らしいテーマ観光である「武将のふるさと愛知」の PR を強化すべく、平成 23 年度に「あいち戦国姫隊」を結成(～平成 26 年度)、平成 26 年度からは武将観光イベントの開催、さらに平成 27 年度からは、新たに「徳川家康と服部半蔵忍者隊」を結成して、武将観光情報の発信を多面的に行ってきた。 ○ 【映画・ドラマのロケ誘致・支援】本県が映画やドラマのロケ地として採用されるよう、「ロケ地情報データベース」を公開するとともに、県内のフィルムコミッションとの連携を進めてきたが、平成 26 年度以降は、「愛知県フィルムコミッション協議会」を設立して、取組の強化を図ってきた。
<p>平成 27 年度実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【産業観光スタンプラリー】(観光振興課) 愛知、岐阜、三重の三県連携で、産業観光スタンプラリーを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施期間:7 月 18 日～9 月 30 日 ・ 参加施設数:141 施設(うち愛知県は 48 施設) ・ 総入場者数:9,610 人(プレゼント有効応募者数 2,954 人) ○ 【産業観光施設ネットワーク形成推進事業】(観光振興課) 愛知・岐阜両県地域の代表的な産業観光施設のネットワーク化を図り、効果的に観光情報発信を行うとともに、周遊観光を可能にする体制を整備することで、各産業観光施設の観光入込客数の増加及び、将来に渡っての安定的な観光客確保の基盤の造成を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 産業観光バスツアーの実施:8 回、参加者 258 人 ・ 産業観光パンフレットの作成:3 万部(掲載施設等で配布) ○ 【徳川家康と服部半蔵忍者隊による PR】(観光振興課) 「徳川家康と服部半蔵忍者隊」を結成し、県内外で「武将のふるさと」をはじめとした本県の魅力を発信した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント等の出演:106 件 ・ 各種メディアの掲載等:64 件

○ 【武将観光情報発信事業】(観光振興課)

県内外の武将や甲冑をテーマに活動する団体・武将隊が参加する武将観光イベント「東海合戦ワールド」を開催した。

- ・ 開催日:11月29日
- ・ 開催場所:県営都市公園 大高緑地
- ・ 来場者数:38,000人

○ 【映画・ドラマのロケ誘致・支援】(観光振興課)

➤ ロケ誘致・支援

- ・ 20作品

➤ 愛知県フィルムコミッション協議会

愛知県フィルムコミッション協議会を通じ、周知・情報交換等の活動を行った。

- ・ 協議会のホームページを通じた活動内容の周知
- ・ ジャパンフィルムコミッションへの加盟及びロケ地フェアへの出展
- ・ 県内FCとの意見交換会の開催
- ・ ロケハン帯同

➤ 情報発信事業

マップやパネル展を通じて、ロケ地への観光客誘致を促進した。

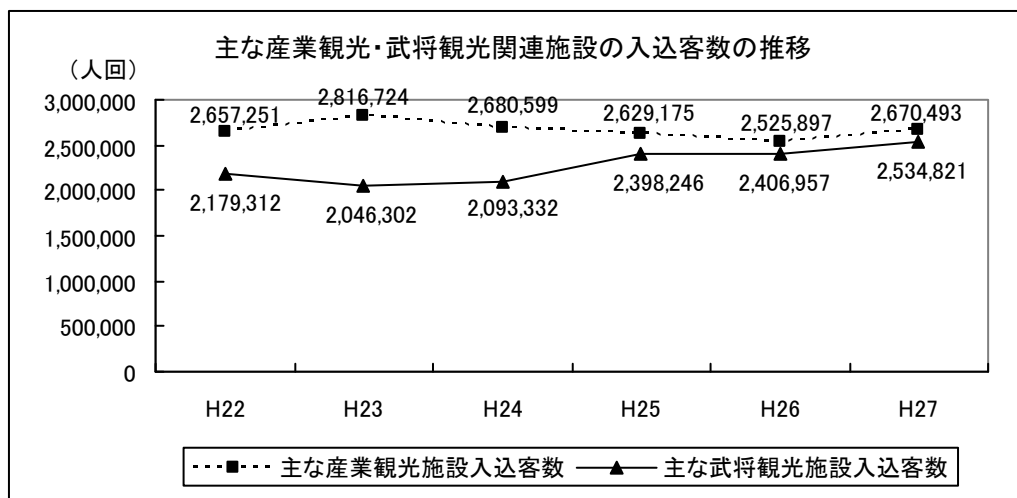
- ・ ロケ地マップの作成:3万部
- ・ パネル展によるPR:4回

主な成果

○ 平成22年以降、主な産業観光関連施設の入込客数はほぼ横ばい、武将観光関連施設の入込客数は漸増となった。

* 主な産業観光関連施設の入込客数…平成22年から平成27年まで6年間の入込客数がわかっている企業ミュージアム等のうち、平成27年の上位5施設(えびせんべいの里、トヨタ産業技術記念館、リタケの森、でんきの科学館、八丁味噌の郷)の合計。

* 主な武将観光関連施設の入込客数…平成22年から平成27年まで6年間の入込客数がわかっている城郭・資料館等のうち、平成27年の上位5施設(名古屋城、犬山城、岡崎城、小牧市歴史館、長篠城址史跡保存館)の合計。



(資料:愛知県「愛知県観光レクリエーション利用者統計」と「愛知県観光入込客統計」から作成)

(2) 地域資源を活かした観光魅力づくり

<p>計画策定後の主な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【食を究める観光の推進】本県のグルメや土産物などを紹介するパンフレットの作成・配布を継続してきたことに加え、平成 27 年度には名古屋市などと連携して「なごやめし普及促進協議会」を設立し、「なごやめし」の魅力の PR と国内外からの観光客誘致に取り組んだ。 ○ 【豊かな自然を感じる観光の推進】エコツアーのルートと見所などを紹介したパンフレット「あいちエコツアーガイド」を活用して、地域におけるエコツーリズムの普及に努めたほか、農山漁村の地域資源とモデルルートを紹介するホームページ「あいち都市農村交流ガイド」を活用し、グリーン・ツーリズムの普及に努めた。また、離島を舞台にしたキャンペーンや三河山間地域の魅力発信・ツアー等も実施した。 ○ 【伝統・文化に触れる観光の推進】東海道沿線 6 市と連携した「トコトコ東海道キャンペーン」を継続的に実施し、街道観光を推進した。また、平成 27 年度に「あいち山車まつり日本一協議会」を設立して、本県の山車文化を県内外へ広く発信する取組を開始した。
<p>平成 27 年度実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【なごやめしの普及促進】(観光振興課) 名古屋市等と連携し「なごやめし普及促進協議会」を立ち上げ、「なごやめし」の魅力を国内外へ発信した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントへの出展:6 回 ・ ロゴマーク、なごやめしPRグッズの作成 ・ ウェブサイト(日・英・中(繁・簡))の開設、SNS・動画を活用した情報発信 ・ なごやめしハンドブックの作成(日本語版):B5 版、32 頁、5,000 部 ・ 愛知県出身のお笑いタレント、スピードワゴンを「なごやめし PR 大使」に任命 ○ 【あいちの離島アジト化計画】(地域政策課) あいちの離島 3 島を「隠れ家(アジト)のように、日常から離れ、自分の時間をゆっくりと過ごすことのできる居心地のよい場所」として、「あいちの離島アジト化計画」キャンペーンを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力的な動画・啓発誌等を制作して、情報発信を行った。 ・ 外国人留学生に参加して頂き、番組を制作。インターネットを活用した放送を通じて、情報発信を行った。 ・ 観光資源の発掘、磨き上げにより、国内外にアピールできるオンリーワンのブランドの開発に向けたビジョンを策定した。 ・ 離島及び周辺地域への新たなツアーを開発し、様々な階層を対象にアンケート調査を行い、今後の誘客に効果が見込めるよう、調査研究を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ モニター・プレスツアー等の実績:51 回 ➤ アンケート調査等:6,080 件

○ **【山里の魅力創造社】(地域政策課山村振興室)**

三河山間地域の魅力等を様々なメディアやイベント等を活用し、年間を通じて情報発信するとともに、山里の魅力を体感してもらうため、現地への移動手段の確保等の仕組みをつくることにより、三河山間地域への訪問客数の増加を図った。

- ・ 番組放送:テレビ 12 回、ラジオ 12 回×2 局
- ・ バスツアー:50 本(7,074 人参加)
- ・ バス助成:105 件(3,627 人参加)

○ **【あいち山車まつり活性化事業】(教育委員会生涯学習課文化財保護室)**

県内山車まつり保存団体及び所在市町村に協議会の参加を呼びかけ、平成 27 年 12 月 13 日に「あいち山車まつり日本一協議会」を設立するとともに決起イベントを開催し、「山車日本一あいち」宣言をした。また、あいち山車まつり日本一協議会及び山車文化を県内外へ広く発信するため、ポスター、パンフレット、カレンダーを作成した。

○ **【トコトコ東海道キャンペーン】(観光振興課)**

東海道沿線 6 市と連携し、ウォーキングイベント「東海道キャンペーン トコトコ東海道」を実施した。

- ・ 開催期間:9 月～11 月
- ・ 参加者数:のべ 1,006 人

○ **【愛知万博 10 周年記念博覧会展】(国際観光コンベンション課)**

愛知万博の開催から 10 年という節目を迎えるにあたり、愛知万博の感動をあらためて思い返していただき、さらなる交流の促進や環境意識の向上につなげるため、愛知万博の理念・成果の継承発展事業の集大成の一つとして開催した。

- ・ 開催日:9 月 12 日～27 日(①及び②)
9 月 26 日・27 日(③及び④)
- ・ 開催場所:愛・地球博記念公園
- ・ 内容:①シンボル展示「まなざしの森」、②市町村万博記念品展示、③愛知万博メモリアルマーケット&フードコート、④愛知万博メモリアルステージイベント
- ・ 来場者数:19,190 人

○ **【ミラノ国際博覧会への出展参加】(国際観光コンベンション課)**

2015 年ミラノ国際博覧会場内に設置された日本館イベント広場での催事に名古屋市と共同で参加し、「あいち・なごやフェア in ミラノ」を開催。「なごやめし」等のユニークな食文化を始めとする当地域の多彩な魅力を世界に向けて発信した。

- ・ 開催日:平成 28 年 8 月 4 日～8 月 8 日(レセプションは 8 月 3 日)
- ・ 内容:①前夜祭としてのレセプション、②試食を含むワークショップ、③ステージイベント、④本県PR映像の放映
- ・ 来場者数:レセプション 200 人(うちイタリア側参加者数 100 人)、「あいち・なごやフェア in ミラノ」 5,700 人(うちワークショップ参加者数 1,500 人)

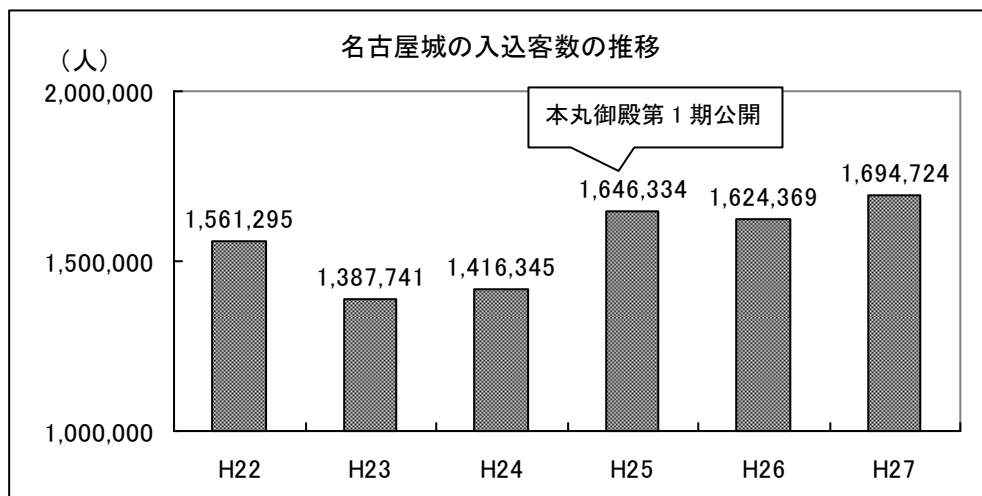
(3) ソフト・ハード両面からの観光地づくり

<p>計画策定後の主な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【ソフト面からの観光地づくり】平成 22 年度以降、観光によって地域を盛り上げようと取り組む方々を対象に、本県の隠れた魅力を発掘し、発信していくノウハウを学ぶことのできる「あいち観光まちづくりゼミ」を開催し、受講生によるモデルコースの企画とモニターツアーの実施を行ってきた。また、地域の観光振興団体が地域資源を活かして企画したツアーについて支援する取組を行ってきたほか、平成 27 年度からは、地域資源について、専門家による効率的な旅行商品化を図る取組を実施することとした。 ○ 【ハード面からの観光地づくり】市町村が実施する観光施設等に対する補助を継続的に実施してきたほか、愛・地球博記念公園や県民の森、愛知こどもの国などの県関連レクリエーション施設の充実及び各種イベント情報の提供を積極的に行ってきた。また、観光地間の有機的なネットワーク化を図るため、新東名高速道路や三遠南信自動車道等の整備を推進したほか、鉄道事業者に対し、利便性向上に係る事項の要望を継続した。
<p>平成 27 年度実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【あいち観光まちづくりゼミ】(観光振興課) 地域の観光資源を生かした観光コースの企画・モニターツアーの実施を支援した(ゼミ生公募開始(4 月～)、開講式(5 月)、企画発表会(7 月)、ゼミ生参加のモニターツアー(2 コース)の実施)。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ゼミ生:56 名 ・ モニターツアー:2 回(豊根村富山地区、篠島・佐久島) ○ 【地域旅行商品総合支援事業】(観光振興課) 地域の観光資源を発掘・アレンジ・旅行商品化・流通に至る一連の仕組みをモデル的に構築することで、効率的な旅行商品化を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 構築地域:4 地域(瀬戸市、豊田市、新城市、名古屋市) ○ 【観光施設費等補助金】(観光振興課) 市町村が実施する観光施設の設置及びバリアフリー化等の改修整備や観光展の開催、広域的観光振興事業に補助を行った。 ≪補助実績≫ <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光施設:12 件、44,997 千円 ・ 観光展:4 件、2,657 千円 ・ 広域的観光振興事業:5 件、6,766 千円 ○ 【名古屋城本丸御殿整備費補助金】(観光振興課) 本県の観光のシンボルである名古屋城の歴史的・文化的価値と魅力を高め、本県全体の観光イメージの向上と観光振興を図るため、名古屋城本丸御殿の復元を支援した。 ≪補助実績≫

・ 平成 27 年度:162,438 千円

主 な 成 果

○ 名古屋城の入場者数は増加した。



(資料:愛知県「愛知県観光レクリエーション利用者統計」)

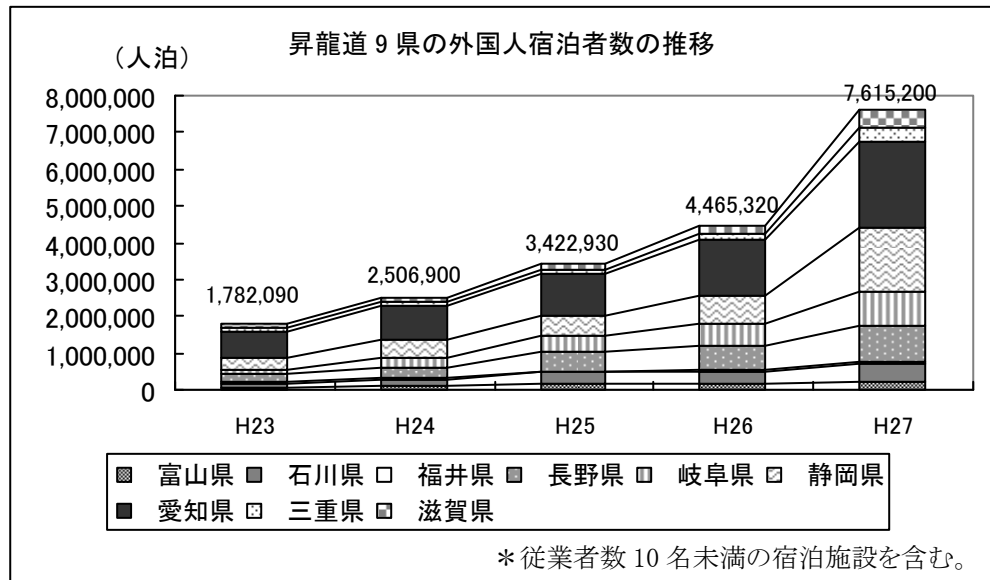
(4) 広域観光の推進	
計画策定後の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【昇龍道プロジェクトの推進】平成 24 年、中部運輸局、北陸信越運輸局及び中部広域観光推進協議会と、本県を含む中部 9 県の自治体、観光関係団体、観光事業者等が「昇龍道プロジェクト推進協議会」を設立し、中部北陸圏の知名度向上を図り、海外からのインバウンドを推進してきた。 ○ 【産業観光における広域観光の推進】愛知、岐阜、三重の三県連携で、産業観光スタンプラリーを継続的に開催してきたほか、平成 27 年度には、愛知・岐阜両県の産業観光施設の周遊を一層促進するため、「産業観光バスツアー」を新たに実施した。
平成 27 年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【広域観光の推進】(国際観光コンベンション課) 中部広域観光推進協議会及び東海地区外国人観光客誘致促進協議会の一員として、広域観光の推進に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 中部広域観光推進協議会(再掲) 海外での観光プロモーションへの参画、海外の旅行社、メディア等の招請を行い、誘客宣伝事業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 上海世界観光博覧会出展(5 月:上海) ・ 日中観光文化交流団参加(5 月:北京、天津) ・ 「日本の観光・物産博 2015」出展(6 月:台北) ・ タイ国際旅行フェア出展(8 月、平成 28 年 2 月:バンコク) ・ マレーシア旅行博出展(9 月、平成 28 年 3 月) ・ 中国(天津)旅游産業博覧会出展(9 月) ・ 昇龍道ミッション(10 月:インドネシア) ・ 台北国際旅行博出展(11 月:台北) ・ 昇龍道物産観光展の開催(11 月～12 月:バンコク) ・ インドネシア旅行博出展(平成 28 年 3 月) ➤ 東海地区外国人観光客誘致促進協議会誘致促進事業(再掲) <ul style="list-style-type: none"> ・ ジャパンフェスティバル in ベトナム 2015 出展等及び旅行会社招請事業 ・ インドネシア旅行会社・メディア招請事業 ・ 韓国・香港 FIT 促進事業 ○ 【産業観光スタンプラリー】(観光振興課)(再掲) 愛知、岐阜、三重の三県連携で、産業観光スタンプラリーを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施期間:7 月 18 日～9 月 30 日 ・ 参加施設数:141 施設(うち愛知県は 48 施設) ・ 総入場者数:9,610 人(プレゼント有効応募者数 2,954 人) ○ 【産業観光施設ネットワーク形成推進事業】(観光振興課)(再掲) 愛知・岐阜両県地域の代表的な産業観光施設のネットワーク化を図り、効

果的に観光情報発信を行うとともに、周遊観光を可能にする体制を整備することで、各産業観光施設の観光入込客数の増加及び、将来に渡っての安定的な観光客確保の基盤の造成を行った。

- ・ 産業観光バスツアーの実施:8回、参加者 258人
- ・ 産業観光パンフレットの作成:3万部

主な成果

○ 昇龍道 9 県の外国人宿泊者数は大きく増加した。



(資料:観光庁「宿泊旅行統計調査」)

3. 「おもてなし愛知」の実現

(1) 県民参加によるおもてなしの推進	
計画策定後の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【おもてなし機運の醸成】多様な主体(県民、観光事業者、観光関係団体、市町村、経済団体等)の参画を得て設立した「おもてなし愛知県民会議」において、ワーキンググループ等を開催して、「おもてなし」の機運醸成を図ってきた。 ○ 【ボランティアガイドの育成】産業観光資源に関する研修を行い、観光ボランティアガイドの知識、スキルの向上を図ってきた。 ○ 【教育現場における地域の観光に関する知識の向上】児童生徒が地域への理解を深める副読本の改訂、編集を進める各市町村教育委員会に対し、学習指導要領の説明を行ってきた。
平成 27 年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【おもてなし愛知県民会議】(観光振興課) 「おもてなし愛知県民会議」を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日:12月25日 ・ 参加者:80名(70団体) ・ 内容:本県の取組状況の報告(愛知県振興部加納観光局長「国内外に向けた観光情報の発信」について)、本年度の活動状況の報告(中部広域観光推進協議会「ロコミサイトを活用した情報発信」について、中部国際空港株式会社「Facebookを活用した外国人向け情報発信」について) ○ 【産業観光あないびと育成研修】(観光振興課) 観光ボランティアガイド等を対象に、産業観光あないびと育成研修を開催し、産業観光に係る知識の向上を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日:平成28年2月12日 ・ 場所:中定商店「醸造伝承館」(武豊町)、赤レンガ建物(半田市)、ミツカンミュージアム(半田市) ・ 参加者:45名

(2) 人の魅力による接客サービスの向上	
計画策定後の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【観光事業者に対する研修機会の提供】宿泊事業者やバス・タクシー事業者等を対象に、語学や接客向上のための研修を適宜実施してきた。
平成 27 年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【ムスリム観光客受入環境整備促進事業】(国際観光コンベンション課) <p>近年、LCC(格安航空会社)の就航やビザ免除により、東南アジアからのムスリム旅行者数は大きく増加している。しかし、ムスリム旅行者には、宗教上の理由から様々な戒律や禁忌があり、ムスリム旅行者側・受入側双方に不安が存在していることから、ムスリム旅行者の受入環境の整備を促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 実態調査 <p>県内の宿泊施設、観光施設、商業施設等におけるムスリム受入対応状況の実態調査を行い、セミナーやリーフレットとして成果を取りまとめ、情報提供を行った。</p> ➤ セミナー <p>ムスリムに対する理解を深めるため、本県の観光事業者、宿泊事業者や観光関係団体等を対象とするセミナーを開催し、専門家等による講演や、取組事例を紹介することにより、ムスリム旅行者を受け入れる方々(観光事業者、宿泊事業者、観光関係団体等)の理解向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日時:11 月 16 日 ・ 会場:愛知県産業労働センター ・ 内容:宗教学者日本ムスリム協会の講演(ハラールの概要説明、ハラール認証の実務の説明)、マレーシア・インドネシアの農林水産物等の流通状況調査報告、県内におけるムスリム受入環境実態調査結果報告 ・ 参加者:64 名

第3 平成28年度の主要な観光振興施策

平成28年度に実施している、「あいち観光戦略」に掲げる重点プロジェクトに係る施策は、以下のとおりである。

戦略Ⅰ 訪日外客誘致に向けたプロモーションと受入態勢の強化

(1) 情報発信の充実・強化

① 海外観光説明会・商談会開催

【広東省観光プロモーション】(国際観光コンベンション課)

経済成長著しく、訪日旅行客数が大幅な伸びを続けるとともに、本県との友好交流先である中国・広東省において、観光説明会・県内観光事業者との商談会開催等の観光プロモーションを実施する。

【アジア大商談会の開催】(国際観光コンベンション課)

訪日旅行客数の多いアジア 5ヶ国・地域(中国、香港、シンガポール、フィリピン、ベトナム)の旅行会社・メディアを招請し、滞在期間中に観光説明会・県内観光事業者との商談会・交流会を開催することで、本県の観光魅力をPRし、旅行商品の造成及び情報発信を働きかける。

【海外観光説明会の開催】(国際観光コンベンション課)

韓国及び台湾において、県内観光事業者とともに観光説明会・交流会等を開催するほか、セールスコールを実施する。

② 海外プロモーション実施

【広東省国際旅行博への出展】(国際観光コンベンション課)

経済成長著しく、訪日旅行客数が大幅な伸びを続けるとともに、本県との友好交流先である中国・広東省において、国際旅行博に出展し、本県の観光魅力をPRする。

【海外観光説明会の開催】(国際観光コンベンション課)(再掲)

【海外産業情報センターによる各種展示会への出展】(産業立地通商課)

中国・上海及びタイ・バンコクの海外産業情報センターが、現地で開催される各種展示会に出展して本県の魅力をPRすることで、外国人観光客の誘致を図る。

【各種展示会への出展】(産業立地通商課)

アセアンへの参入・拡大を目指す県内企業に対し本県が展示会等への出展支援を実施する際に、愛知県の観光も併せてPRし、外国人観光客の誘致を図る。

《マニユファクチャリング・インドネシア 2016》

・日程:平成28年11月30日～12月3日

・場所:インドネシア ジャカルタ国際展示場

戦略Ⅱ 観光資源の充実とブランド化の推進

(1) 武将観光・産業観光の推進

① 戦国武将やゆかりの史跡、忍者等を生かした武将観光の推進

【武将観光の推進】(観光振興課)

本県には、信長、秀吉、家康の郷土の三英傑をはじめ、数多くの戦国武将を輩出しており、県内には、戦国武将ゆかりの史跡や合戦を再現する祭りも数多く存在している。そこで、国内外の「武将、騎士及び甲冑をテーマに活動する団体」が一堂に会する武将観光イベントを開催するとともに、「徳川家康と服部半蔵忍者隊」により「武将のふるさと愛知」を世界に情報発信することで、国内外からの観光客の誘致を図る。

② 武将観光イベントの開催

【ワールドサムライサミット 2016 の開催】(観光振興課)

「あいち合戦ワールド」、「東海合戦ワールド」で高まる武将観光への機運を更に盛り上げるため、平成 28 年度は海外の騎士の参加も含め、外国人誘客も視野に入れた「ワールドサムライサミット 2016」を開催し、国内外からの本県への誘客を促進する。

③ あいち航空ミュージアムの整備

【あいち航空ミュージアム整備事業】(航空対策課)

「次代の航空機産業を担う人材育成の推進」等のコンセプトに基づき、「あいち航空ミュージアム」の整備を進めることとしている。そのため、本年から施設の建設工事に着手するとともに、ミュージアムに展示するコンテンツについて実施設計を行う。また、ミュージアムの運営管理についても手続きを行う。

(2) 伝統・文化に触れる観光の推進

① 山車まつり文化の PR・プロモーション

【地域伝統芸能全国大会の開催準備】(観光振興課)

平成 30 年秋、本県内で開催を予定している地域伝統芸能全国大会の準備を進め、山車まつり文化を含む本県の多様な伝統芸能に関する情報発信の好機とする。

【「Aichi Now」を通じた情報発信】(国際観光コンベンション課)

一般社団法人愛知県観光協会が運営する「Aichi Now」のウェブページ・SNS を通じ、日本語を含めた多言語で、山車まつり文化を含む本県の魅力について情報発信を行う。

【国民文化祭の運営】(文化芸術課)

平成 28 年 10 月 29 日から 12 月 3 日の間、文化庁との共催により開催する、「第 31 回国民文化祭・あいち 2016」において、山車まつり文化をはじめ、本県の音楽、演劇、美術、伝統文化などの魅力を伝える。

【あいち山車まつり活性化事業】(教育委員会生涯学習課文化財保護室)

「あいち山車まつり日本一協議会」において、①総会・研修会の開催、②シンポジウムの開催、③公開イベントの開催、④ポスター、パンフレットの作成を実施する。また、「山・鉾・屋台行事」の

ユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組についての連絡協議会と連携し、ユネスコ無形文化遺産登録を記念した行事を共催する。

(3) グルメ・食文化のブランド化

① 「なごやめし」の普及促進

【なごやめしの普及促進】(観光振興課)

名古屋市等とともに設立した「なごやめし普及促進協議会」を通じ、なごやめしの魅力を国内外に向けて発信することで、本県への一層の誘客促進を図る。具体的には、多言語パンフレット・リーフレットやホームページ、SNS、首都圏でのイベント出展等を通じて魅力発信を行う。

(4) 着地型観光の推進

① 着地型観光の商品化支援

【県域連携 DMO^(*)形成促進事業】(観光振興課)

県内を広く周遊する着地型旅行商品の造成・販売等を行える県域連携 DMO の形成に向け、市町村や地域観光協会、商工会等の職員を中心に、幅広い県民を対象にした着地型旅行商品コーディネーターの育成講座を開催する。

*Destination Management / Marketing Organization の略。地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの推進役。

【地域旅行商品総合支援事業・東三河地域旅行商品総合支援事業】(観光振興課)

地域の観光資源を着地型旅行商品として旅行会社へ効果的に売り込み、企画から販売までの窓口を一元化することで、旅行会社等のニーズに合わせた多様な企画・販売をコーディネートし、観光客の持続的な増加を図る。

【地域文化資源を活かした地域活性化推進事業】(文化芸術課)

地域文化を発信し、その魅力を再発見するとともに、地域全体の魅力を向上させることにより、まちの活性化を推進するため、市町村等と連携しながら、国民文化祭事業と地域資源を活用した「着地型観光プログラム」を組み合わせた観光ツアー等を実施し、県内外からの誘客展開を図る。

(5) 情報発信の充実・強化

① 首都圏等の他の都道府県における情報発信・プロモーション

【首都圏・関西圏プロモーション推進事業】(観光振興課)

関係部局や県内市町村と連携して、愛知の観光物産展を首都圏でおおむね毎月開催するほか、首都圏及び関西圏において効果的にプロモーションを実施し、愛知の魅力を発信する。

【武将観光の推進】(観光振興課)

本県には、信長、秀吉、家康の郷土の三英傑をはじめ、数多くの戦国武将を輩出しており、県内には、戦国武将ゆかりの史跡や合戦を再現する祭りも数多く存在している。そこで、武将にゆかりのある城や古戦場に絡むイベントなど(平成 28 年度は、函館、松江)への PR キャラバンを実施し、「武将のふるさと愛知」を PR する。

【JR デスティネーションキャンペーンの実施準備】(観光振興課)

平成 30 年秋季に開催することが決定している JR デスティネーションキャンペーンについて、実施協議会の設立や基本計画の策定等の準備を進める。

【県営名古屋空港協議会と連携した PR・プロモーション】(航空対策課)

県営名古屋空港協議会との連携事業として、就航地からの利用客の需要を掘り起こすため、県営名古屋空港を活用した当地域における観光プランや就航地における観光プランを提案するリーフレット(名古屋航路 年 4 回)を作成し、就航地の自治体や旅行代理店へ配布する。

また、県営名古屋空港協議会・就航先と連携して、就航先にキャラバン隊を派遣し、マスコミ訪問や集客施設での PR を実施するほか、チラシ・ポスターによって、県内・就航先の観光情報や交通情報等を発信する。

【あいちの農産物トップセールス in 東京】(食育推進課)

本県農産物等の約 3 割を出荷している首都圏において、県と県内農業団体の代表者が本県産青果物や花きの購入を直接消費者に呼びかけ、消費拡大を図る。

《実施予定》

- ・日時:平成 29 年 2 月 12 日
- ・場所:東京都内
- ・出席者:愛知県知事、JA あいち経済連会長等

【第 55 回農林水産祭実りのフェスティバルへの出展】(食育推進課)

本県農林水産物の需要拡大を図るため、11 月 11 日、12 日に、サンシャインシティワールドインポートマートビルで行われる農林水産祭実りのフェスティバルに出展し、本県産農産物の即売を行うとともに、パネル展示やリーフレットの配布を行う。

戦略Ⅲ 観光交流拠点県としての機能強化

(1) 広域観光の推進

① 昇龍道プロジェクトの推進

【昇龍道プロジェクトの推進】(国際観光コンベンション課)

広域観光推進組織の一員として昇龍道プロジェクトを推進するほか、本県が単独で実施する海外でのプロモーションや招請事業等においても、「昇龍道プロジェクト」等の広域観光の取組を紹介する。

② 産業観光周遊バスの運行

【愛知・岐阜連携産業観光周遊バス】(観光振興課)

東海地方には、当地で発展してきた繊維機械産業、自動車産業、航空機産業などをテーマにした産業観光施設が数多く存在し、観光資源として積極的に活用していくことが必要である。そこで、愛知・岐阜両県地域の代表的な産業観光施設のネットワーク化を図り、効果的に情報発信を行うとともに、周遊観光を可能にする体制を整備することで、各産業観光施設の観光入込客数の増加及び将来に渡っての安定的な観光客確保の基盤の造成を行う。

戦略Ⅳ MICE・スポーツ大会を通じた誘客推進

(1) MICE の誘致

① MICE 誘致のための PR・プロモーション

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

名古屋市、名古屋観光コンベンションビューロー並びに当地域で MICE に関わる幅広いステークホルダーとともに設置した「愛知・名古屋 MICE 推進協議会」を通じて、地域が一丸となって、政府系会議や大規模国際会議をはじめとする MICE 誘致に取り組む。

【国際会議等の誘致】(国際観光コンベンション課)

国内外における MICE 見本市や商談会への参加等を通じて本県の PR を行うとともに、国内キーパーソン等を対象にした情報収集を行い、国際会議等の誘致を推進する。

(2) 受入環境の整備

① 大規模展示場の整備に向けた取組

【大規模展示場の整備】(地域政策課大規模展示場準備室)

常滑市の空港島に展示面積 6 万 m² の大規模展示場を整備するため、設計施工一括発注方式による設計及び建築工事を実施する。

【運営体制構築の検討】(地域政策課大規模展示場準備室)

大規模展示場の整備に伴い、実際の運営に必要な業務内容の精査や、運営計画を策定するなど、運営体制構築の検討を実施する。

【知事プロモーション及び利用促進プロジェクトチームによる展示会主催者等への働きかけの実施】(地域政策課大規模展示場準備室)

展示会主催者等向けに、東京・名古屋の 2 会場で知事によるプロモーションを実施する。また、全庁をあげて利用促進のためのプロモーション活動を展開するため、大規模展示場利用促進プロジェクトチームを設置し、展示会主催者等への働きかけを実施する。

(3) スポーツ大会の招致・育成

① ラグビーワールドカップ 2019 の開催支援

【ラグビーワールドカップ 2019 の開催支援】(スポーツ振興課)

大会成功に向けた開催機運醸成と豊田スタジアムでの開催支援、地域の活性化を目的に設立した「ラグビーワールドカップ 2019 愛知・豊田開催支援委員会」による支援活動を実施する。

② 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の競技招致及び合宿誘致

【東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の競技招致及び合宿誘致】(スポーツ振興課)

競技招致に係る情報収集、大会関係者等への働きかけ等を行う。また、合宿誘致に係る各市町村への取組支援(施設 PR 資料の作成、視察費用の補助等)を行う。

③FIFA フットサルワールドカップ 2020 の招致と開催支援

【FIFA フットサルワールドカップ 2020 の招致】(スポーツ振興課)

国際親善大会及び招致機運を盛り上げるための広報事業を実施するほか、JFA が FIFA に提出する招致ブックの作成に協力する。

④アジア競技大会などの国際的スポーツ大会の招致検討

【第 20 回アジア競技大会の招致】(スポーツ振興課アジア競技大会推進室)

2026 年に開催予定の第 20 回アジア競技大会の愛知・名古屋への招致活動を実施する。

- ・JOC に立候補意思表明書を提出(5 月 13 日)
- ・第 20 回アジア競技大会開催構想を JOC に提出(5 月 30 日)
- ・アジア競技大会愛知・名古屋招致委員会を設立(7 月 7 日)
- ・2026 年第 20 回アジア競技大会 OCA・JOC 評価委員会による視察(7 月 21 日、22 日)
- ・OCA 総会(ベトナム・ダナン)において、愛知・名古屋が開催都市に決定(9 月 25 日)

戦略 V 戦略的な観光ひとつづくり

(1)観光人材の育成

①学校との連携・協働

【学生を対象とした表彰(アワード)の実施】(観光振興課)

大学や専門学校、高校及びその学生・生徒を巻き込んで観光を盛り上げ、キーパーソンを育成することを通じ、観光産業の振興に寄与するため、学生から観光振興に関する取組のアイデアを募集し、優れたものを表彰する。

(2)地域自らによる観光マネジメント力の強化

①日本版 DMO の推進

【県域連携 DMO 形成促進事業】(観光振興課)

ICT を活用したマーケティング調査や県内観光地等の評価情報集積システムの構築、着地型旅行商品コーディネーターの育成を通じて、県域連携 DMO のあり方を検討する。

(参考)あいち観光戦略推進委員会

愛知県観光振興基本計画に定められた観光振興に関する施策の平成27年度の実施状況に関する議会への報告及び公表に当たり、平成28年9月12日(月)に、下表の委員で構成する「あいち観光戦略推進委員会」を開催し、当該実施状況や今後の施策展開に対するご意見をいただいた。

(五十音順・敬称略)

氏名	所属・役職
◎大澤 健	国立大学法人和歌山大学経済学部 教授
クリス・グレン	有限会社パスト・プレゼント・フューチャー 代表取締役
近藤 善紀	名古屋市観光交流局観光交流部長
摂津 輝彦	一般社団法人日本ホテル協会 中部支部 事務局長
田尾 大介	株式会社ツーリズムデザイナーズ 代表取締役
中島 藤隆	一般社団法人全国旅行業協会 愛知県支部 事務局長
西村 哲治	公益社団法人日本観光振興協会 中部支部 事務局長
長谷川 勝則	一般社団法人日本旅行業協会 中部事務局 事務局長
山本 勝子	日本福祉大学 知多半島総合研究所 顧問
○横山 陽二	名古屋外国語大学現代国際学部国際教養学科 准教授
加藤 忠則 (渡邊 幸一委員代理)	愛知県ホテル・旅館生活衛生同業組合 専務理事 (愛知県ホテル・旅館生活衛生同業組合 理事長)

◎…委員長、○…副委員長

平成 28 年度版
愛知の観光振興施策の実施状況
(平成 27 年度年次報告書)
平成 28 年 10 月発行

作成・発行
愛知県振興部観光局観光振興課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号
電 話 052-954-6353
F A X 052-973-3584
メール kanko@pref.aichi.lg.jp
ウェブ <http://www.pref.aichi.jp/kanko/>